

HERE  
TO  
FALL  
ADULT ONLY



# HERE TO FALL

ADULT ONLY



・前作のあらすじ  
激戦地で任務に付いていたが、それまでの活躍と本部の計らいで  
瑞鳳と提督はケッコン後、平和な南の島で少数の艦娘と過ごしていた。

ある日、龍驤から紹介された田知の鳳翔とその夫の毘にかかり  
犯され、それをネタに脅されて十日間その夫に身体を弄ばれる事となった。  
経験した事のない爛れた十日間を折れずに何とか耐えて、  
鎮守府に帰って見た物は提督と鳳翔が身体を求め合っている姿だった……



急だけど  
今日の秘書艦  
変わって  
欲しいんだけど...

んー、何で？

ちよつと用事が  
あってね.....

ゴッ

おやおや.....?  
やあ、瑞鳳君



体調は大丈夫かい？  
昨日はちよつと  
自分でもやりすぎたと  
思ってるよ

謝らせてくれ、  
それと何か相談でも...

この男本当に.....



最低よっ.....



.....瑞鳳君？

そんな事  
じゃない.....

貴方が.....  
けしかけたんでしょ！  
提督につ！

いや.....ん？

ゴッゴッ



それは僕はあ  
関係ないなあ

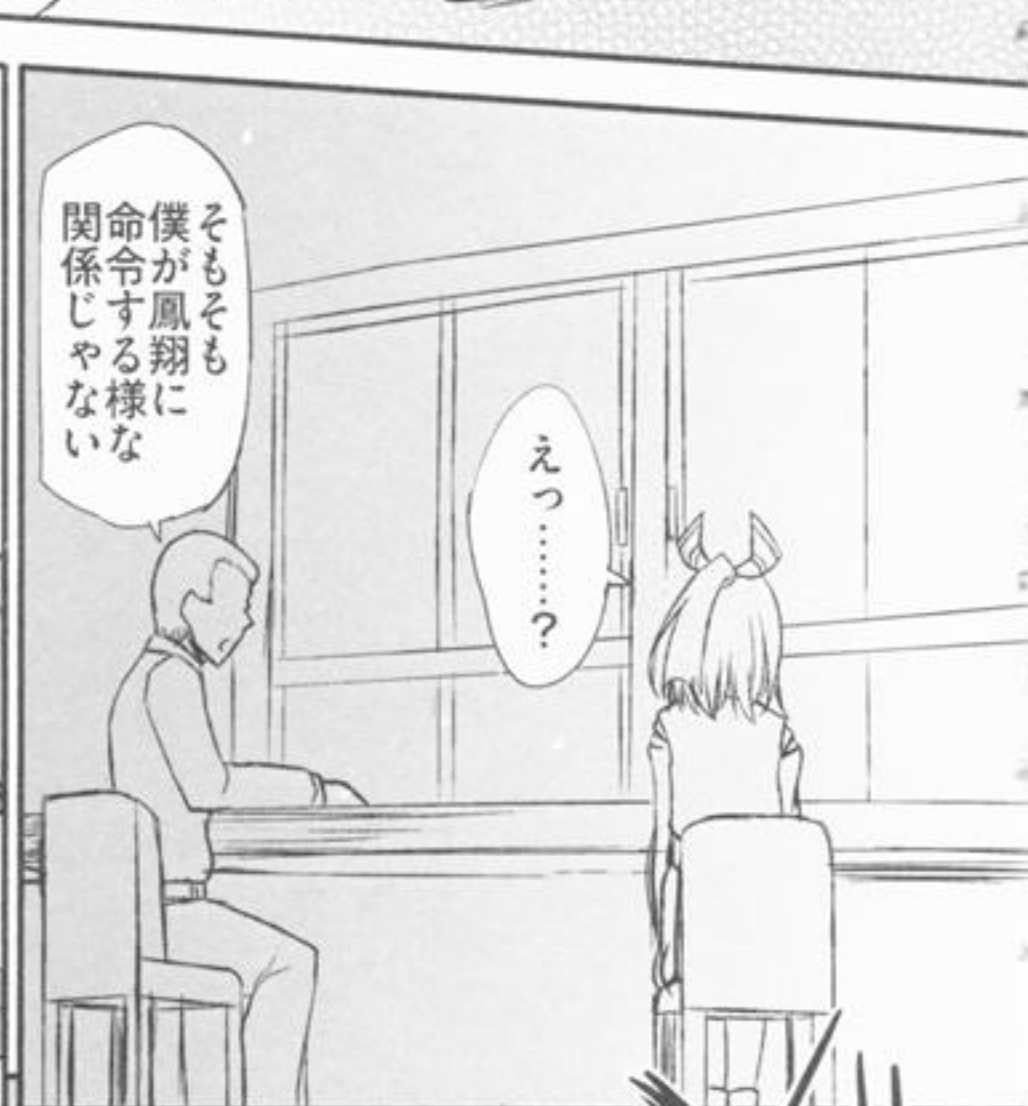


成る程、  
そんな事がね……  
ハッキリ言うけど



お互いに  
愛し合ってるからね  
基本的に自由にだから

彼女が勝手に  
した事だよ  
ツ……!



そもそも  
僕が鳳翔に  
命令する様な  
関係じゃない

えっ……？



そういう事なら、  
その提督だって  
怪しいじゃないか

ウチの鳳翔と  
知り合ってた  
みたいだし

昔はそういう  
関係だったのが  
燃え上がったって……  
みたいな事だって



ふざけないで！  
そんなワケないでしょ！

アナタじゃなきや  
誰が……



良くある話だ



瑞鳳君だって  
楽しんだんだし…

や、やだっ  
腕捕まれて…



提督は  
そんな事っ…

しない、  
なんて言うのかな？



そこに顔を  
突っ込んだのは  
瑞鳳君だろうか？

お…



違うわよっ！  
離してっ！

あなたが無理やり  
あんな事っ…  
私にしなければっ！



自分も当事者に  
なるとは思っ  
てなかった様  
だけどね

何を勝手に…  
私、そんな事  
考えてないっ

ち、ちがうわよお…



それはっ！  
貴方がっ……

その割には  
抵抗もないし



本当かなあ  
ただ単に僕に  
慰めて欲しいだけ  
じゃないのかな？

そんなわけ  
ないでしょっ！



……んん？僕が  
何をしたのかな？

はつきり  
言ってみなよ  
瑞鳳君



だめっ……  
これ以上  
思い出したら

知らないっ……

ハハッ……  
君は本当に  
可愛いなあ



まだまだ  
昨日の事は鮮烈に  
覚えてるだろうからね

身体が、  
抵抗できないん  
だろう？

……ああっ



僕も流石に鳳翔に裏切られると気分が落ちるね

そういうワケだから瑞鳳君の身体で僕も慰めてもらおうかな？

あーっ



えっ……？

なんで私もうこんな……

ほら、瑞鳳君も待ってただろう？

ち、ちがっ……

こういう時は正直な方と話し合うのが手取り早い

と言ってもここまで柔らかく受け入れられるとは思って無かったけどね

奥まで簡単に入ってっ……

昨日一日中愛し合ってたけど

やっぱり僕と瑞鳳君は相性良さそう





ハッ

ねっ……!



ハッ

ほら、もう  
蕩けてる

瑞鳳君もつと  
教えてあげるよ



ちがうっ  
提督はっ……!

提督とココのサイズも  
似てるみたいだったから  
瑞鳳君を昂ぶらせるのも  
楽だったし……!



ここ浅い所を早く  
動かすのに君は弱いんだよ

今日のはつきり  
解るだろう?

何でこんな  
簡単に解るのっ……!

昨日はもう  
朦朧としてた時  
だったけど

ハッ

も、もつっ  
頭に凄いのが  
キそうっ……!



ハシチャッてる……

ムッ

瑞鳳くん  
今、軽くいきそう  
だったね？



おおっと、  
抜おつと、  
良おつと、  
くおつと、  
ないおつと、  
けおつと、  
いなおつと、

えっ…何で  
止まって…



ムッ…ムッ

私の身体…  
全部が…

ダメだよ、まだまだ  
教えなきゃいけない事は  
沢山あるんだから、  
…じっくり行こう

ムッ…ムッ



そう、  
じっくりとね

おっ…おっ…おっ…

ムッ

ムッ…ムッ

ムッ

ムッ…ムッ

ムッ

ムッ…

ムッ



あつ、またつ  
クるっ！  
キチャビビッ



はこ、ハハキビ



あ...あ...

あ...あ...



どうだい、瑞鳳君？  
とても気持ちいい  
...だろうか？

ハハハハ

はっ

こんなの  
酷いわよ

あ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ



もつ...いやあつ...  
何回かおさめるの...  
頭おさめるの...  
なつちやうつ！



また勝手に  
イこうとしたね

顔は抑えてても  
瑞鳳君のは簡単に  
解っちゃうんだよ

どうしてか  
知りたいだね？

ハハハ

どうしてか  
どうしてか



それっ!

あ、ああっ……  
きたっ……



やだっ……  
おわっっちゃ



ぬげぢやっ……



その時にゆっくり  
引き出せばホラまた  
逆戻り、  
これを繰り返せば……

やだっ……  
またっくるっ……

瑞鳳君は奥で  
いく直前お腹が  
震えだすから  
本当にわかり易いよ



僕はそんなに  
動かなくていいから

こんな風にずっと  
楽しめるワケだよ、  
解ったかい瑞鳳君?

もうっ、続けたら  
死んじゃうっ  
たすけてっ……  
許してっ……

まあもうまともに  
頭に入る状態じゃない  
だろうけどね

またっ……



提督ッ……  
たすけてよお……  
助けてよお……

刺激を  
受け入れるだけで  
翻弄されればなし  
って感じかな?



おっと？  
凄い顔してるけど  
何か言いたい事が  
あるのかな？

ウソッ  
うそッそッ！  
……終わり？  
本当にっ……？

イヤなら仕方  
仕方ないなあ……  
瑞鳳君は



何がイヤ  
なんだい？  
言っ  
て  
ごらんよ

足りないのよ、  
足りないのよ……

軽くキてるけど……  
まだっ……

そういう事なら、  
浅い所で  
イかせてあげるよ  
これで満足  
できるだろうし

アッ  
ウソッ  
アッ  
ウソッ

思い出しちゃって  
すごい硬くて  
何度も何度も……

私の奥まで  
全部……

11465 44367

16465 44367

16465 44367

こんな……  
ズルいよあ……

16465 44367

16465 44367

16465 44367

16465 44367

僕はもう  
終わらだ  
言っただ  
から  
欲しいな  
ら  
まず、ち  
ゃんと  
言っくれ  
ないと  
困るん  
だけど

そこで  
ストップ  
だ

……

16465 44367

16465 44367

ほら、瑞  
鳳  
言うんだ  
お願いし  
ますって

16465 44367

16465 44367

16465 44367

16465 44367

16465 44367

16465 44367

16465 44367



冗談だよ瑞鳳君、まさかそんな事

君みたいないち途な娘がそんな事言うとは思ってないからね

そうだろう？……とまあ

あっ……イけたあっ……



八つ当たりはこれ位にしてきちんと愛し合おうか

あっ……私、

アッ!!



自分から  
提督に酷い事  
言おうと……

ん？！

はい

チビチビ

おのの

こんなっ……  
激しい……

さっきは瑞鳳君も  
欲しがってたろう

身勝手は  
良くないな

チビ……

言った通り、  
たっぶり  
使わせて貰うよ

いぎなON...  
奥まのNANA...



おなかっ  
めくれちゃっ  
みたくになっ  
て……

そこから  
身体がっ  
溶け出っ  
て……



ハハッ、凄い声  
出てるよ瑞鳳君……

……



それにしてもっ  
いい締めだねえ……!

あーっ

訓練してるからなのかな?  
僕でさえびっくり  
するんだ、提督も  
相当気持ちいいだろうね

あ

ハッ



ま、また  
提督の話してっ……

あーっ

あ

あーっ

その辺どうなのかな  
聞いてるかい瑞鳳君?



あ

そんな事  
答えるワケ  
ないじゃない……!

あ

あ

あ

あ

絶対しり.....

ここら辺で一度っ.....!

あー



あー

あー

あー

あー

ふう.....

あー

あー



あー

あー

あー

あー

掃除してるとはいえ  
流石に床は.....  
服が汚れてしまったね。



続きは部屋にしよう  
いいね、瑞鳳君?

聞こえてるのかい  
瑞鳳君?



ほら、  
どうだい  
瑞鳳君?

そんなの  
知らないっ……



私も、嫌だけど  
この感覚に  
慣れてきて……

もう、つれない  
態度だね……

にしても……  
昨日あんなにシたのに  
まだ全然余裕そう……

もって意地悪した方が  
良かったかな?

おおっと……

電話か……  
鳳翔かな？

ちよっ、  
ちよっどー？

離してよおっ……

えっ……

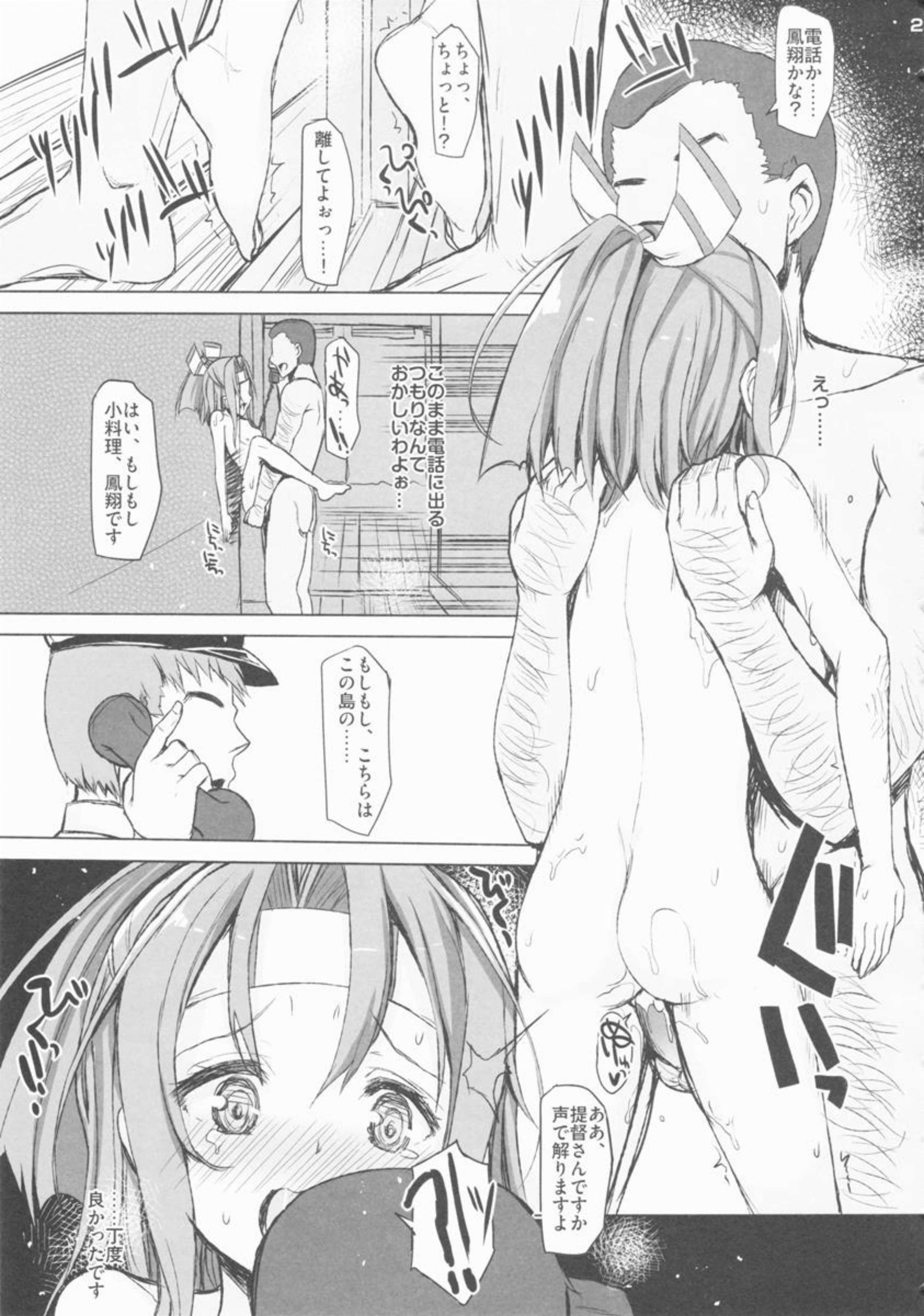
このまま電話に出る  
つもりなんて  
おかしいわよお……

はい、もしもし  
小料理、鳳翔です

もしもし、こちらは  
この島の……

ああ、  
提督さんですか  
声で解りますよ

……小度  
良かったです



今こちらに  
瑞鳳さんが  
いらしてるので

こんな事って……

いやね、鳳翔と一緒に  
料理を教えてまして

私っ行き先だっって  
誰にも言っつて  
なかつたのにつ

それで、何の  
ご用でしょうか

おっ……!!

ニギハヤヒ

ニギハヤヒ

それでも  
かけてくるなんて  
バツぱりつ  
だんじや……

……はい、どちらに  
替わりますか?

瑞鳳さんで、  
……解りました  
少々お待ちを

それとも  
鳳翔さんと  
連絡したのらに  
私……?

瑞鳳さん、  
提督さんから  
ですよ!!

とにかく声  
出さないよう  
に……

!!

ニギハヤヒ

ニギハヤヒ



もしもし、  
瑞鳳か？

おーい

や、やだっ  
ウソウソっ……

瑞鳳、  
出るんだ……



っ、提督？

おいおい出かける  
ならちゃんと言  
ってくれよ

出撃が無いとは  
いえ問題だぞ



ご、ごめんなさい  
鳳翔さんが料理  
教えてくれるって  
言うからねっ

来なさいって……

はあ……

……ちゃんと  
言ってくれよ  
軍規とかじゃなくても  
……心配になるんだから



逆らえないっ……  
この人が本気になったら  
簡単に声だつて……

ごめんなさい……

ちゃんと  
……ね？  
……ね？





解ったよ、今日は  
ゆっくり教えて  
貰うといい……

あ、後そうだ

何……っ？



深雪の奴が  
不貞腐れてたから  
なんか今度  
埋め合わせしないと  
ダメだぞ？

うん……



解った、その…  
ごめんね……  
提督

……それは深雪に  
言ってやれって

だってっ……



まあ、とにかく皆  
心配してるんだ  
ちやんと帰って来いよ

……あー……  
その何だ……瑞鳳



愛してるぞ

あっ……ダメっ……  
私……なんてこんな……

うん……

提督の事考えながら  
こんな男につ……  
犯されてっ……



腹押しの……

絶対にダメな事  
だった善なのに……  
もう当たり前みたいに……

熱いのっ……  
注がれてっ……



……どうやら  
上手く行った様だね  
……瑞鳳君、  
興奮したろう？

まだ、頭が  
しびれて……

そんなッ……

まあいいさ、  
今日はゆっくり  
できるわけだから

瑞鳳君  
そうだろう？



あーっ

あーっ

あーっ

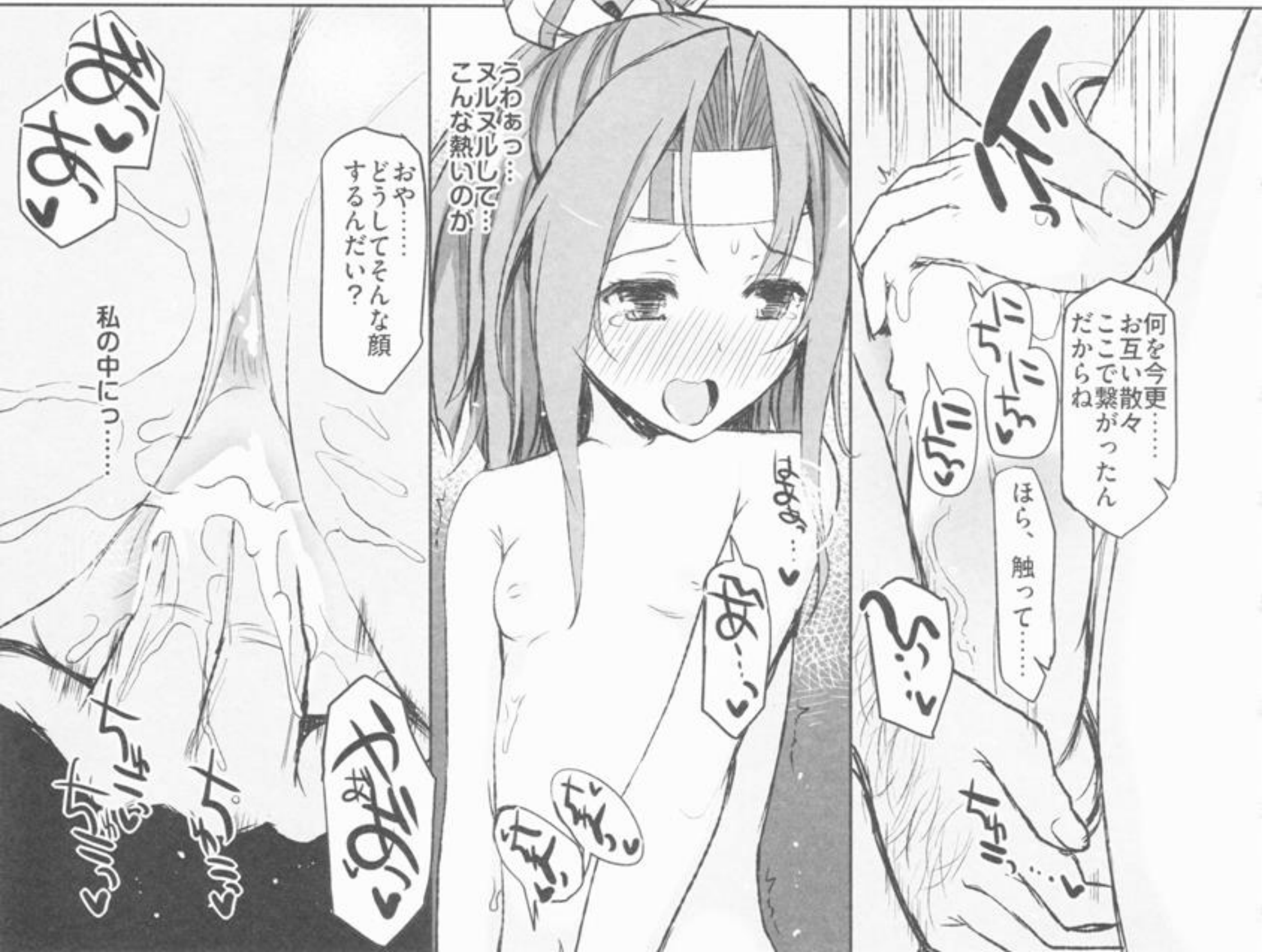
あーっ

あーっ

瑞鳳君、  
どうしたんだい？

あーっ

やめてっ……  
そんなに  
押し付けな  
いでよお



何を今更……  
お互い散々……  
だからね  
ここで繋がったん

ほら、触って……

あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ

あーっ  
あーっ

うわあっ……  
こんな熱いのが……

おや……  
どうしてそんな顔  
するんだい？

あーっ……

あーっ

あーっ  
あーっ

あーっ

あーっ  
あーっ

私の中……

あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ



さっきまで何度も入ってたなんて変な感じ……

もしかして、瑞鳳君間近できちと男のモノを見た事がないのかな？

だっつたらこの場で慣れておくといいいよ

ちよつと、口の練習しておこうか……



……この反応、どうやらそうみたいだね



口でするのは知識位はあるだろう？

ホラ、やってみていい機会だよ……提督も喜ぶさ

そんなわけないわよ……

ハハッ……迅速な判断だね

それはっ……



……それなら僕が君をまた弄り倒してあげようか？

……それでいいんだ

こい、こんなに近くで……

……っ！変な味と匂いがして気持ち悪いよあ……

……っ！



ほら、形が良く  
解るだろう？  
結構表面は  
でこぼこしてるんだ

何で  
こんな事っ……

提督とも  
シた事ないのに……



少し口の奥に  
入れてみようか

そうそう  
上手だよ、瑞鳳

でも、早く鎮守府に  
帰るには  
これしかないの……



こんな事してるのが、  
しかもこの島のエース  
なんだから

おおっ……これは  
たまらないな

そんな  
言わないでっ



そんなの、私  
知らないわよお…

ほら、瑞鳳君  
どんな風に見える？

そんな風に  
意識させないで…

さつきよりっ、  
真ん中に熱い芯が  
入ったみたいにおい…  
なってるよお…



男の人って、  
こんな風に  
なっちゃうんだ…

瑞鳳君のココも  
さつきから蜜が  
ひっきりなしだね

ほら、続けて…  
お互い気持ちよく  
し合おうか

それにこの格好…  
普通にスるより…  
お互いが無防備で…



もっと  
いやらしい事  
みたいにな…

僕もきつちり  
シてあげるよ

そうそう、  
その調子



こんな事に  
なるなら先に  
提督にシて  
あげれば……

提督のも  
ごんな感じ  
なのかな……

良かったのかな……

おおっ……  
瑞鳳君やるねえ  
なかなか  
筋がいい様だ



僕も負けて  
られないな

とにかく、  
普通にスる位なら  
こつちの方がマシな  
苦よね……

っ……瑞鳳君、  
急にっ……!!

それに、少しでも  
手玉に取られてるの  
……仕返したって  
出来でるだろうし







—ううん、  
どうしたものかな  
こりやあ  
酷くなるぞ



奇遇ですな



おっと、提督さん  
こんな所で



ま、そういう事  
でしょうな

ご安心下さい、  
先程こちらにも  
雨脚が強くなる  
前に帰る様  
お送りしましたから  
行き違いか……



といつても、瑞鳳さん  
をお迎えに来たんでしょ  
うが

あ、はい  
まあ……



……この道を  
知ってるとは  
流石だなあ



この辺は現地の人は  
近寄らないからさ

大丈夫、基本的には  
人は来ないよ

さ、それじゃ  
行こうか瑞鳳……



瑞鳳は僕より  
びびりしたかも  
だけど

こんなにつ……  
雨降ってるのに  
熱いっ……

ああいう事は  
稀だから  
僕も流石に  
驚いたよ

熱いよ……

はっ……

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

瑞鳳君を汚れた服のまま帰すわけにはいかないからね

何か怪しまれるかもしれないし

それに瑞鳳君ならこういう事も楽しめると思っただからね  
なっ……

私っこんな格好で、外でなんて……

なに、軽い延長戦さ悪い様にはしないよ

瑞鳳君の場合はこういうのはハマると癖になるから

こんなの全然楽しくないわよ……

無理やり、キスされて

身体の中まかせられてっ

それを心配した方がいい





どうやら  
神殿の様なもの  
あったそうだよ

瑞鳳君、  
いい顔だね…  
とても綺麗だ

こんなう…



—よし、  
この辺で  
いいかな

知ってるかな、  
この辺りは昔  
この跡があった  
遺跡がね

さらにその後  
は潜伏しやすさ  
軍事的拠点に  
利用されたりも  
したそうだし



勿論掘れば死体も出る  
地元の人はとても  
複雑だろうね

あつ…雨の  
中なの…  
熱が…伝わってくる

また…  
犯されちゃうんだ

瑞鳳君は  
どう思う？

そんなの…  
知らないっ

つれないなあ……

はは

はは





君の提督、  
こんな道を使う程だ  
急いでたんだろうね

自分も酷く  
熱くなってるのが  
解るっ……

君に早く  
会いたかった筈だ

それなのに君は  
外で腰を振ってる  
わけだ……

あなたの……  
せいでしょっ！



大体、提督に  
助けを求めたって  
良かったんだよ

っ……！  
そんな事したらっ

掻き出される度に  
少し冷たくてっ……

そんな事したら  
どうなるんだい  
瑞鳳君

変な感じっ……

提督を絶対に信用してるならそうすべきだけど

あー

……それができなかった

あー

提督とまでギスギスする事はないんだよ？

アナタが言える事じゃないわよっ……!

瑞鳳君にはどうやら事情がありそうだねえ

あー

あー

あー

あー

あー

あー

ハハッ……それもそうか

あー

あー

けど、この宙ぶらりで危ない状況を瑞鳳君はどこか愉しんでるね

あー

あー

あー

あー





なっ...  
何でそっちなっ...

まあ、だからこそ  
君は素質が  
あるんだけど



この雨だ、  
もっと思い切り  
叫んだって  
大丈夫だよ？

違っつ...  
私...

そんな...  
楽しんでないって  
考えてないっ...

ほらっ……  
射精すよっ……!

おっおっおっ!!

おっおっ

おっおっ  
おっおっ

おっおっ!!

おっおっ!!

おっおっ!!

おっおっ!!

いっぱい  
流れ込んで……

奥で感じるっ……  
止まってるっ……  
早く終わりたいっ……

おっおっ!!

おっおっ!!

おっおっ!!



これっ…  
いつもと  
全然違うっ

思ったより早く  
射精して  
しまったね

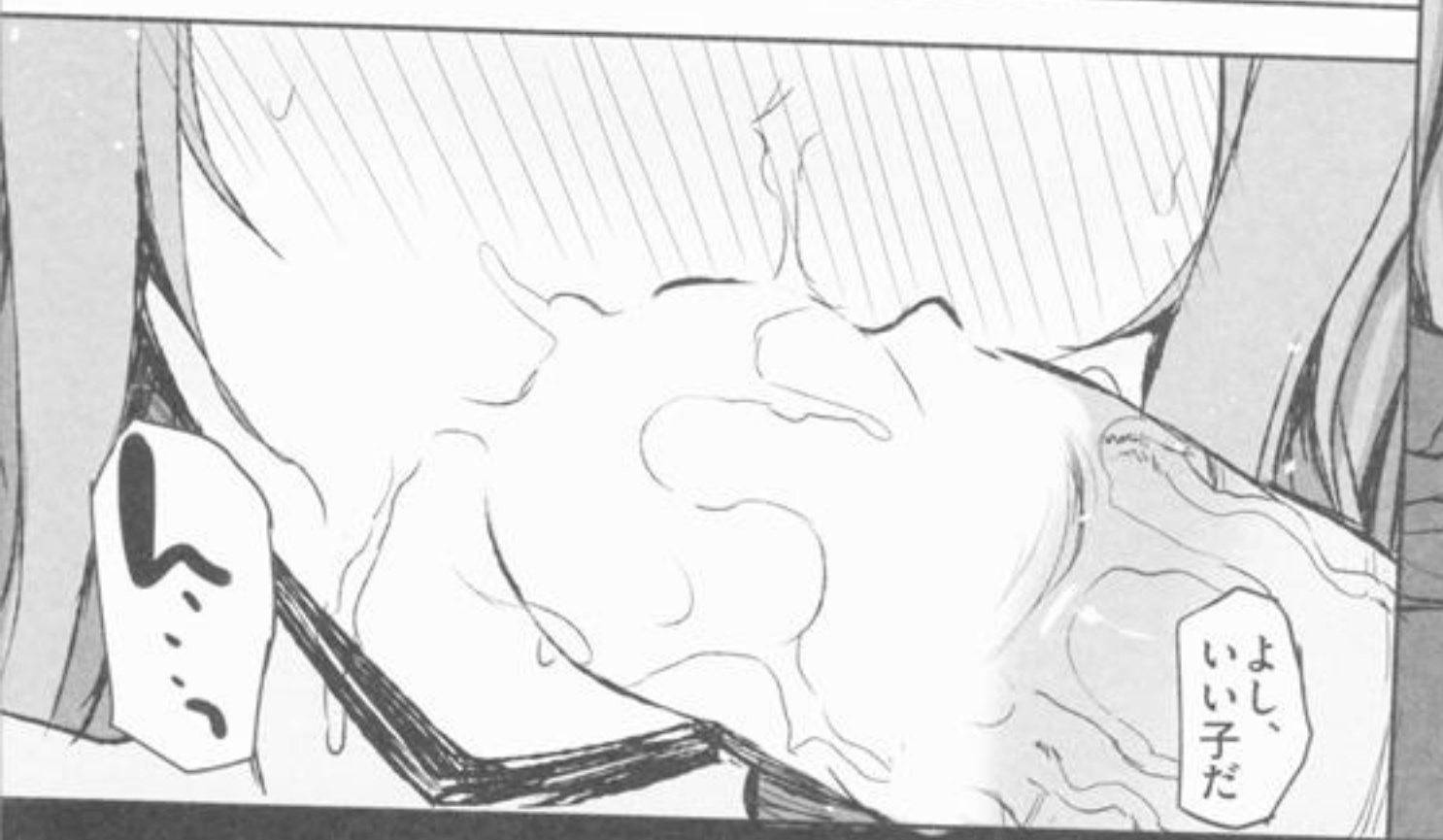
本当に  
ヘンになりそっ  
だった…

まあ  
丁度いいか



そんなに  
見ないでよお…

続けたのは  
山々だけ  
提督に言  
手前ね…



ほら……

それじゃ、瑞鳳君  
帰る前に  
おさらいだ

よし、  
いい子だ

でも、まだ……  
私は大丈夫だから……



……提督、昨日は  
ごめんね？

あ……



……ん？

カ  
カ  
カ



こんな朝から  
誰かな？

カ  
カ  
カ



あ……

カ  
カ  
カ

むしろサボって  
料理な習いに行くって  
どれだけマジメなんだよ



瑞鳳、気にする事  
じゃないさ

誰だっってたまには  
サボりたくなる

カ  
カ  
カ



やだっ……こんな時に私、何を想像してっ

ドクドク……

瑞鳳……？

えっ……何？  
提督

子供扱いしちやったか、すまん……

もうっ……それ位はっ……いいわよっ……



元々、瑞鳳が作る朝食は抜群だからな

それじゃ頂こうか

いやあ、楽しみだ

それが更にパワーアップになると……



もうっ……

そんな一日で変わったりなんかしないわよ

なんで一日だけで私、こんな……

でも、つきっ切りで教えて貰ったんだろ？

そりやあもうきつと……

ドクドク……



瑞鳳？

あっ……！！  
ゴメンなさい  
ポーっと  
しちゃった

うーむ、  
風邪っぽいのか？



昨日の雨も  
かなりの物  
だったしな

今日も大事を  
取って休んでいいぞ



うん……  
ありがと、  
提督

いん  
ん



瑞鳳君、今日も  
来れたんだね

いん



まあ、  
そうだけどね

しかし、僕の話  
を素直に聞か  
かね

いん



だって、来いって  
言ったのあなたじゃ……



今日もあの日と  
同じで、龍驤が……

いん



何よそれ...

私も.....



でも前と違うのは...

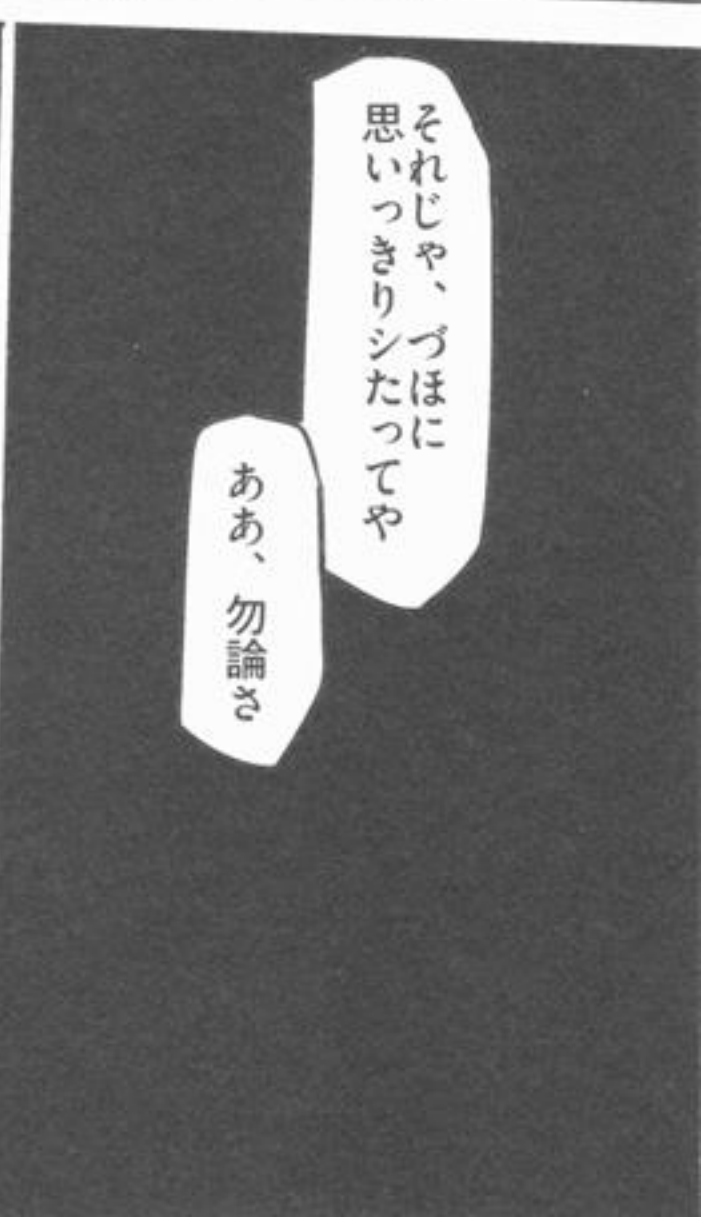
まあいいさ  
丁度良かった  
龍驥君が見たかったから



君の事を  
気にしてたからね



ええやろ、  
男から見たら  
最高の光景や



それじゃ、づほに  
思いつきりシたってや

ああ、勿論さ

そんなっ、  
私喜ばせる  
つもりなんて...



驚いた、ホンマに  
まだ……凄いなあ  
づぼは……

龍驤  
何なの？

とろろ

とろろ

いや……  
何でもないわ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

今度は逆に私が  
龍驤の目の前で  
犯されるんだ……

ほら、はよ  
入れたってや……

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

とろろ

いいね、  
瑞鳳君？

とろろ



今日は……  
ゆつくり入って

やだっ……  
いつもより  
意識しちゃう



あはっ  
凄いなあ……

あのづほも  
こんな顔に  
なるんやなって

すぶすぶって  
根元まで、  
押し込まれるっ……

龍驤っ……  
見ないでお



そりや出来ない  
相談やで……  
見逃したら  
一生モンや……

あっ……  
やだあ……



こんな瑞鳳の  
とろつとしたメスに  
なりかけの顔……

目離せへん……  
次の瞬間  
コロっといっでまう  
かもしれんしな……

そんなっ……





僕の事も  
忘れないで  
欲しいね

瑞鳳君は  
本気で感じる  
とこういふ声に  
なるんだよね

声……  
出ちゃうよお……



うわっ  
凄いな

奥に思いつきり  
突き刺さって

誰に惚れてても  
ぐずぐずにしてまう

ホンマひどい男  
やなあ……



やだっ  
急に激しく……



やだっ……  
見ないでっ……

瑞鳳君、特に  
今日は興奮してるね

ただ、今日は  
それだけじゃ  
なさそうだ……

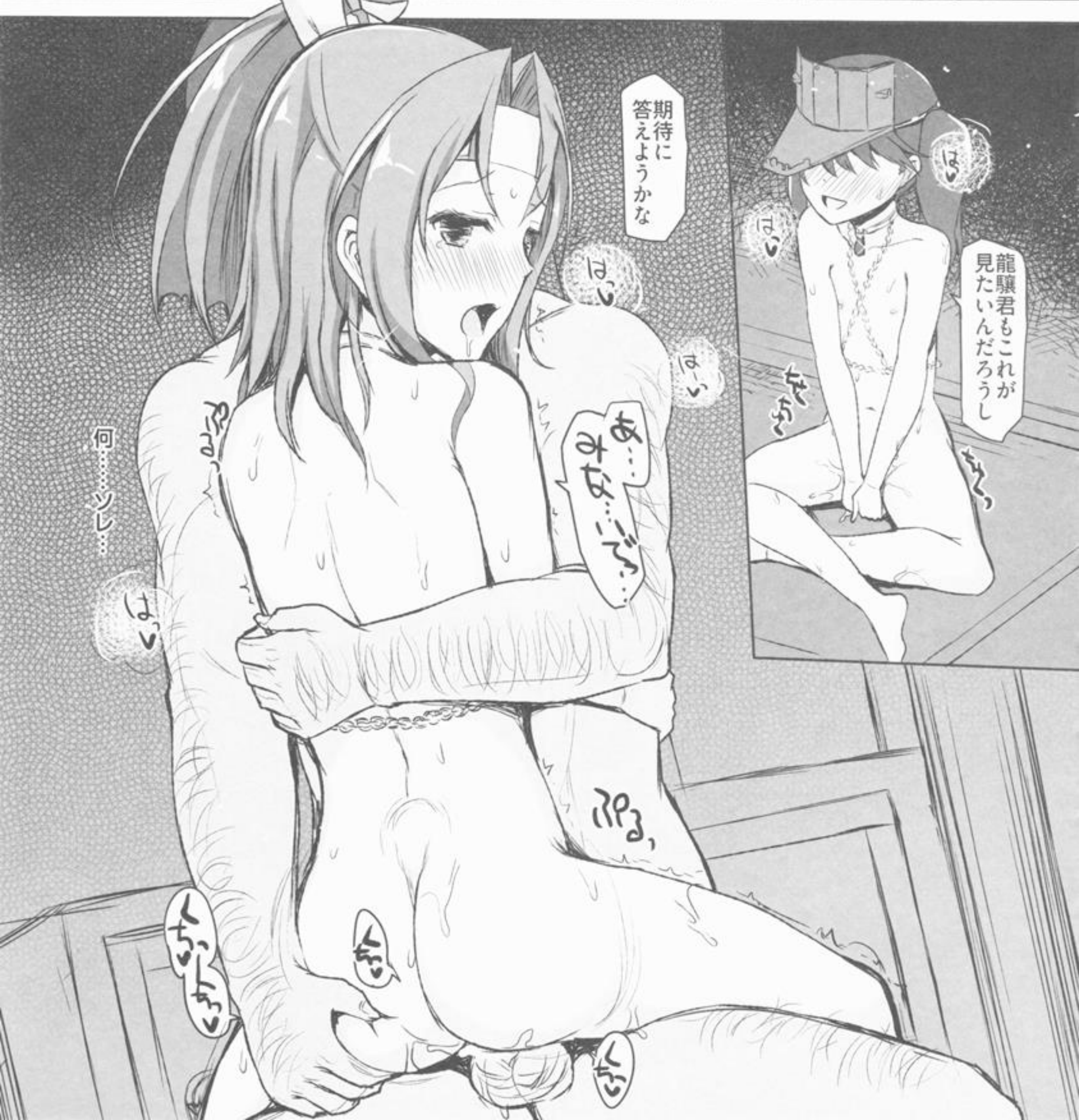
もっと龍驤君に  
見てもらおうか







本当に愛し合って  
みようって事だよ



期待に  
答えようかな

龍驥君もこれが  
見たいんだろうし

何...ム...







きつと、提督も  
気持ち良さそう  
だったんだろ



これっ  
やだあつ……

瑞鳳君、解るよ  
不安なんでしょう？

はい

本当は提督から  
鳳翔に手を出したんじや  
ないかって



でも本人に  
確かめたくない  
怖いからだ……

あ……やたつ……  
急に優しく  
しないでよあ……



……

やつ……  
何これっ……？



変な気持ち……

ちやんと僕は  
解ってるよ



何...これっ  
全然動いてないのにっ

わ、私は  
そんなあ...

身体がすっどっ...



ちよっと、  
やさしくされた  
だけなのにつ...

あ...幸せな感じが  
いつばいで...  
もっどっ...  
欲しくてっ...

意地を張らなくてもいい、  
不安な時はもっど  
正直にならなきゃ...



ほら、一度  
動いて...

や、やだっ...  
もう...

こんな甘やかす  
言葉だけなのにつ...

それに合わせて  
射精するからね？

これだけで...  
なんでっ...

この男が。  
好きみたいになっ...

あ、あれ？  
これっ出てるのっ……

ほら、瑞鳳君  
僕も、ちやんと  
愛してるよ

ゆっくり漏れる  
みたい……

……

……

……

心も身体も  
弱った女の子を  
両方、甘やかして  
追い込んで

なんでも  
これだけ  
なのに……

……  
今までで、  
一番……

こりやもう、  
づほも  
ダメやろな……

……

……



あはは...

もう、全然  
逆ひえない...

あは

あははは



可愛いよ、  
瑞鳳...

なんて凄く  
嬉しいのよ...

...それだけ  
じゃなくて

あは



あははは

こんなの  
どうしたらいいの...

またそれかあ...  
まあ顔見れば  
ハッキリしとるし  
ええわ

...ホントに  
知らないから



あは

知らない

あは

あは

あは



甘い言葉も...  
本気で言われてる  
風にしか思えない...

ああ...こりやもう、  
ハマっちゃったなあ  
...気分はどうや?

あは



ほらっ、もっと動いて…瑞鳳  
 ちょよ、ちよっとお…

こんな気分初めてでっ…  
 提督…私っ…

お願いだから呼び捨てしないでっ…

何だい？

あはっ



もう…自分から動いても全然イヤじゃなくなってるっ…

はっ  
 むしろっ…  
 凄く嬉しいっ…

いいじゃないか…瑞鳳



…だ、だからやめえっ…  
 あ…

何を言われても心地よくて…

あはっ

あはっ  
 あはっ  
 あはっ

あはっあはっあはっ

あはっあはっあはっ

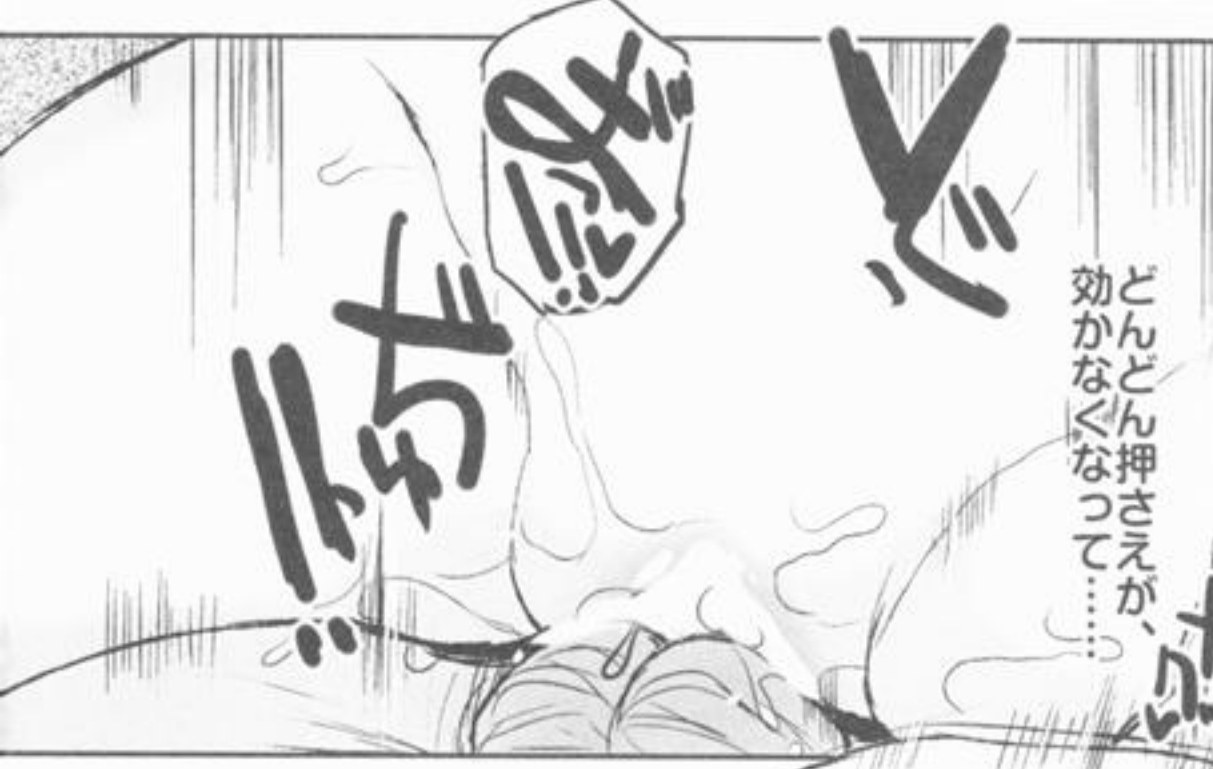


そう……  
だけどっ  
提督だけ  
特別なのっ……



瑞鳳の大好きな  
提督だっってそう  
呼んでたじゃないか

怖いよお……



どんどん押さえて、  
効かなくなっって……



そうか……



でも、僕にだっって  
権利はあるだろ？

私が私で  
なくなっっちゃいそ……



でも……  
本当に怖いのは

そんな事……  
ないから……

まったく  
嘘つきな  
子だな

とにかく、  
アナタが呼ぶのは  
絶対ダメなんだから  
……ね？

僕だって  
君にとって  
特別になつた  
筈だろ？

ま



解った……  
愛してるよ  
瑞鳳……

ん……

あ……

あ……



だから……

それすら  
イヤじゃないって  
思えちゃう所……

あ……

あ……

あ……

あ……



今日は朝まで  
龍驤と交互に

たっぷりと、  
愛してあげるからね

提督……  
もう、私……  
幸せすぎて……



壊れちゃうかも……

はっ  
はっ  
はっ



**INST**  
ADULT ONLY

TITLE : HERE TO FALL  
CIRCLE : INST  
AUTHOR : Interstellar  
DATE : 16/09/15  
PRINT : Kanazawa printing Co.,Ltd.  
WEB : <http://instovdr.sakura.ne.jp/>  
MAIL : [instovdr@hotmail.com](mailto:instovdr@hotmail.com)